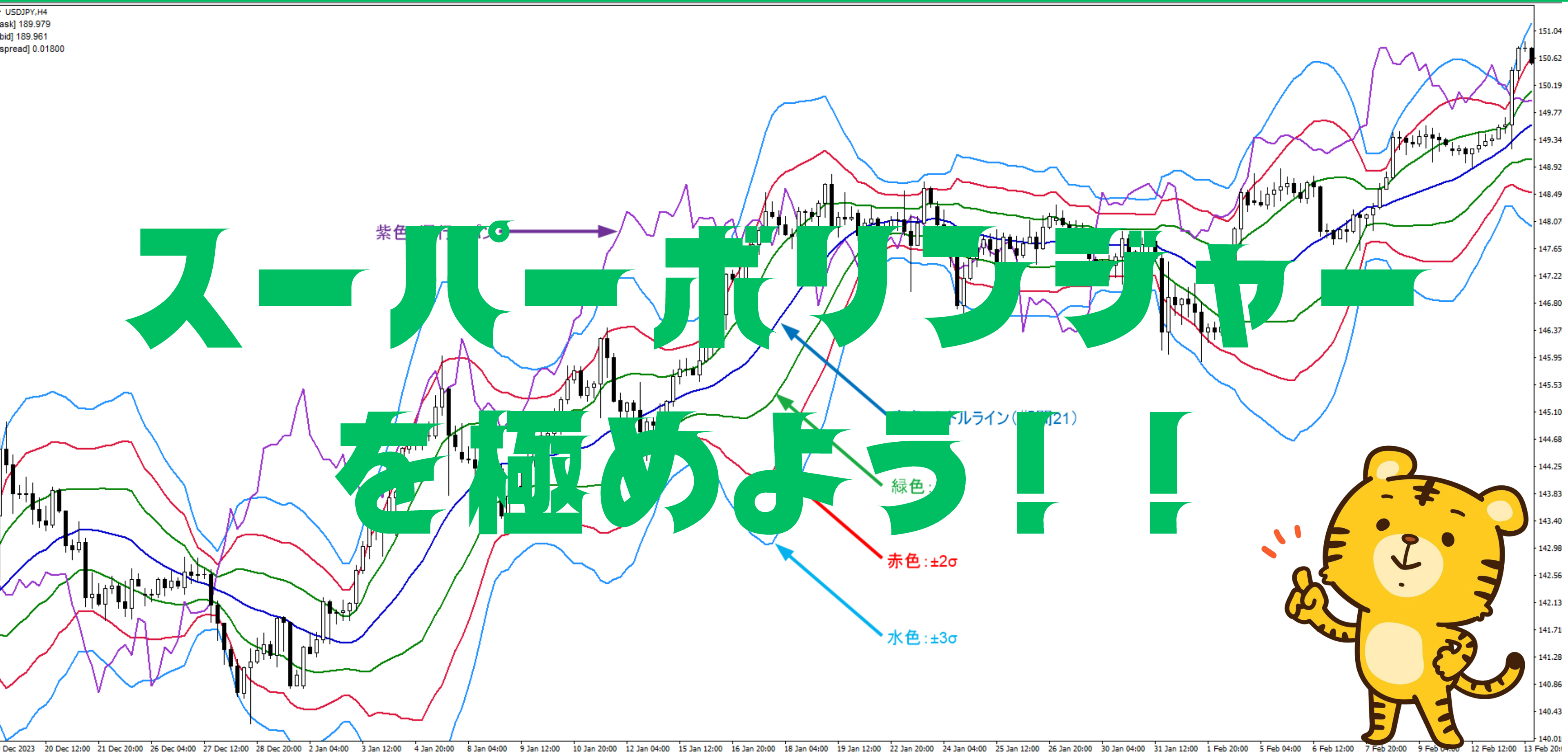


USDJPY,H4
ask] 189.979
bid] 189.961
spread] 0.01800



目次

1. 極めるためには？
2. スーパーボリンジャーとは？
3. 遅行スパンを征する者は相場を征す
4. $\pm 1\sigma$ ラインの意味
5. 相場の12の局面



極めるためには？

1. 資料（教材）の熟読

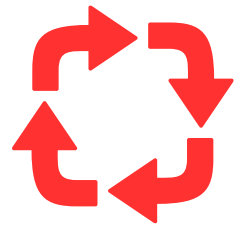
2. 準備

3. 守破離（検証）

4. デモ口座取引（確認・修正改善）

5. リアル口座取引（小額から）

今回はこの部分



スーパーボリンジャーとは？

スーパーボリンジャー

ボリンジャーバンドに遅行スパンを
加えたツール

スーパーボリンジャーは、以下の要素から構成されています

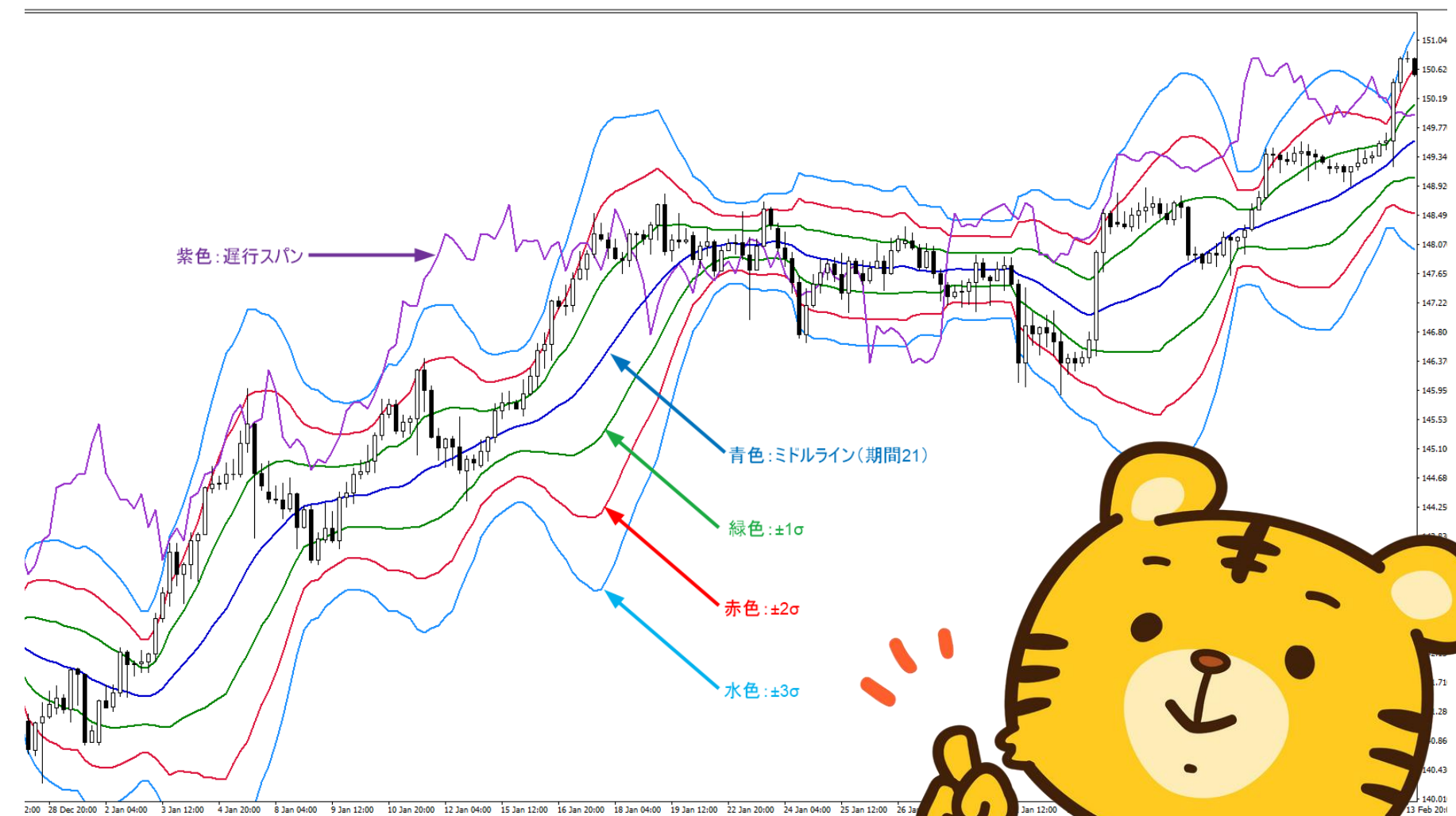
- ・ 中央の期間21単純移動平均線(センターライン)
- ・ 標準偏差($\pm 1 \sim 3\sigma$)
- ・ 遅行スパン(期間1 表示移動-21 Simple)



スーパーボリンジャーとは？

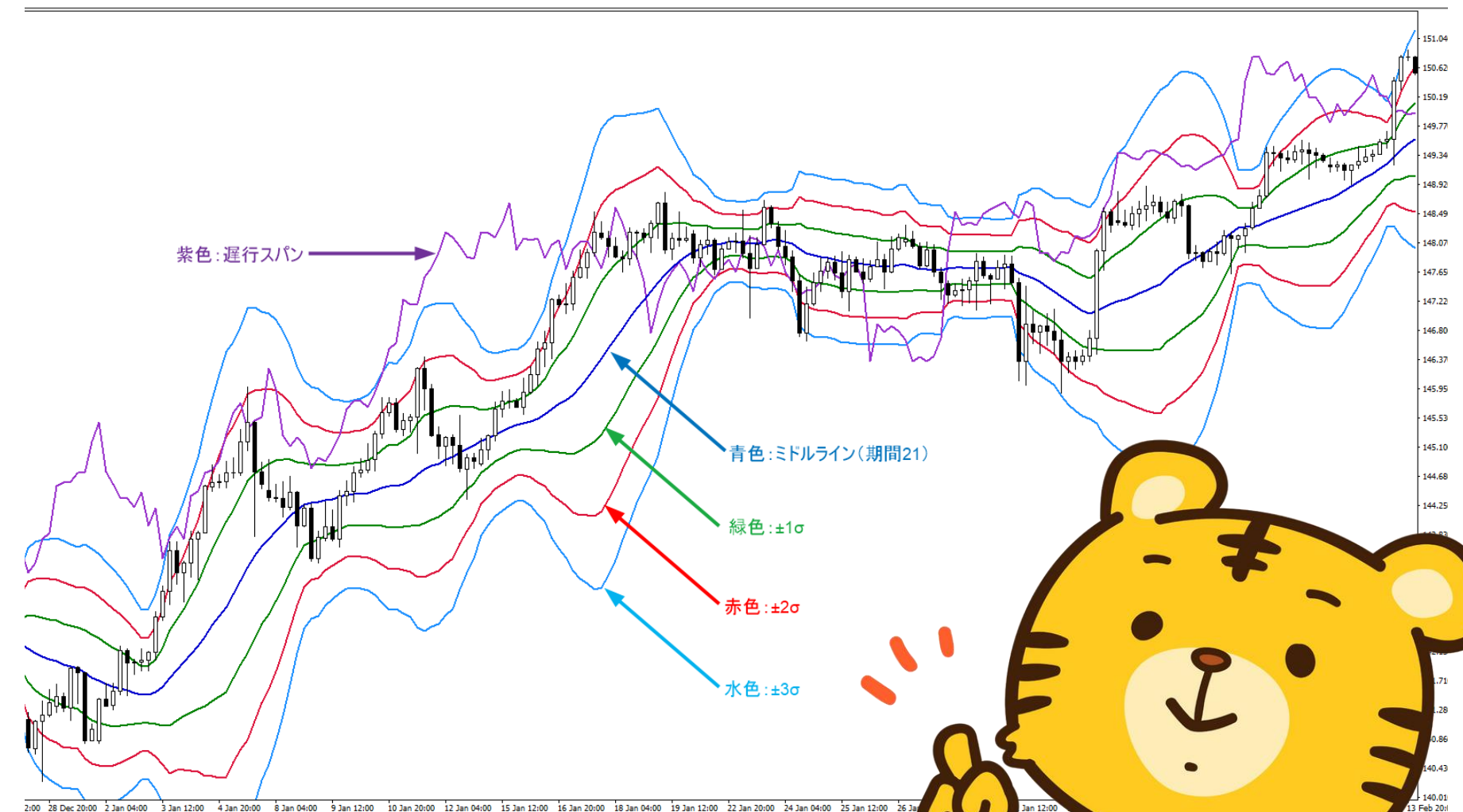
スーパーボリンジャーというのは、ボリンジャーバンドというよく知られているチャートの進化版です。

ボリンジャーバンドを知っている人なら、スーパーボリンジャーもすぐに理解でき、このチャートを使うと今の相場の流れがすぐにわかります。



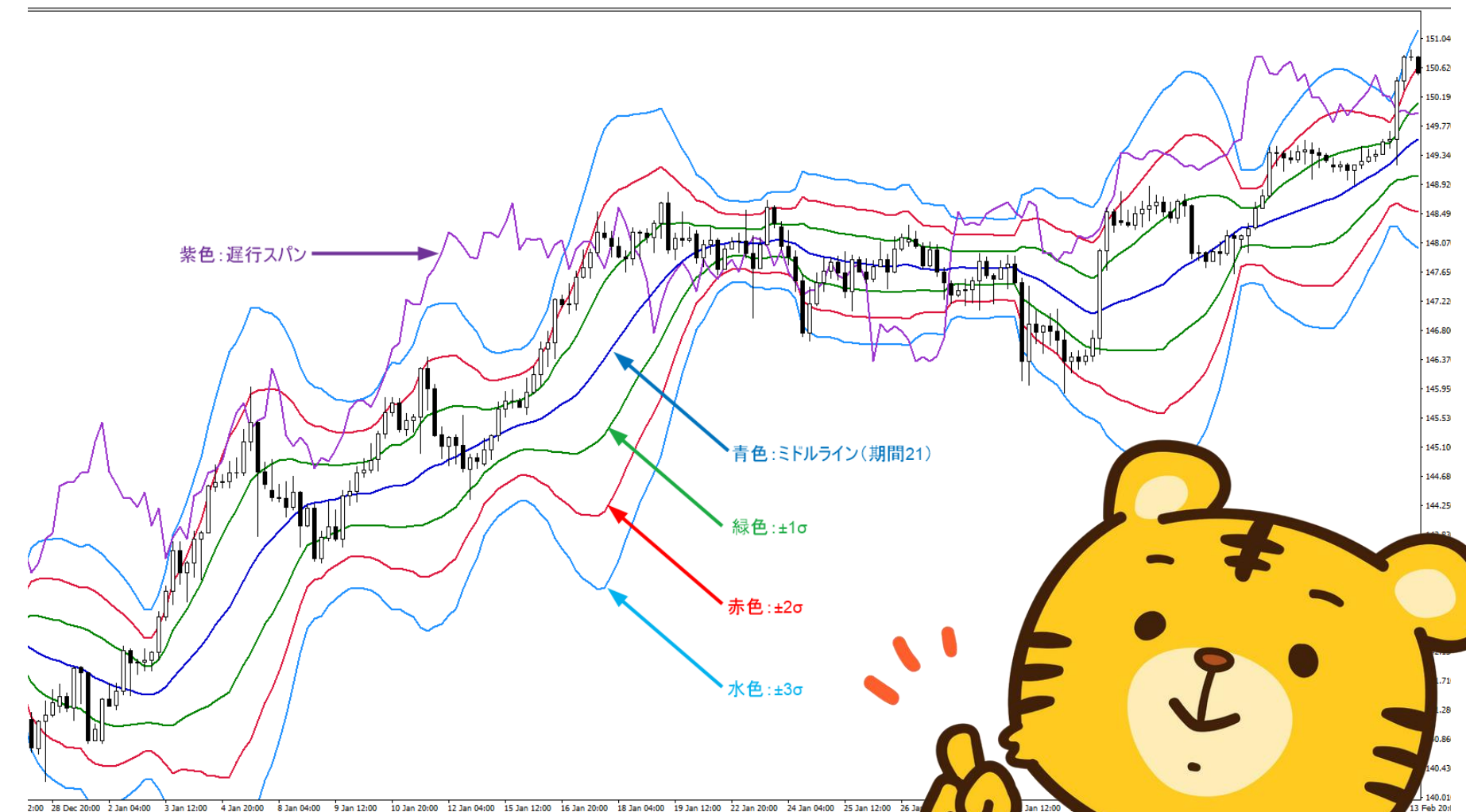
スーパーボリンジャーとは？

たとえば、相場が上昇しているのか下降しているのか、その勢いが強いのか弱いのかが一目でわかります。



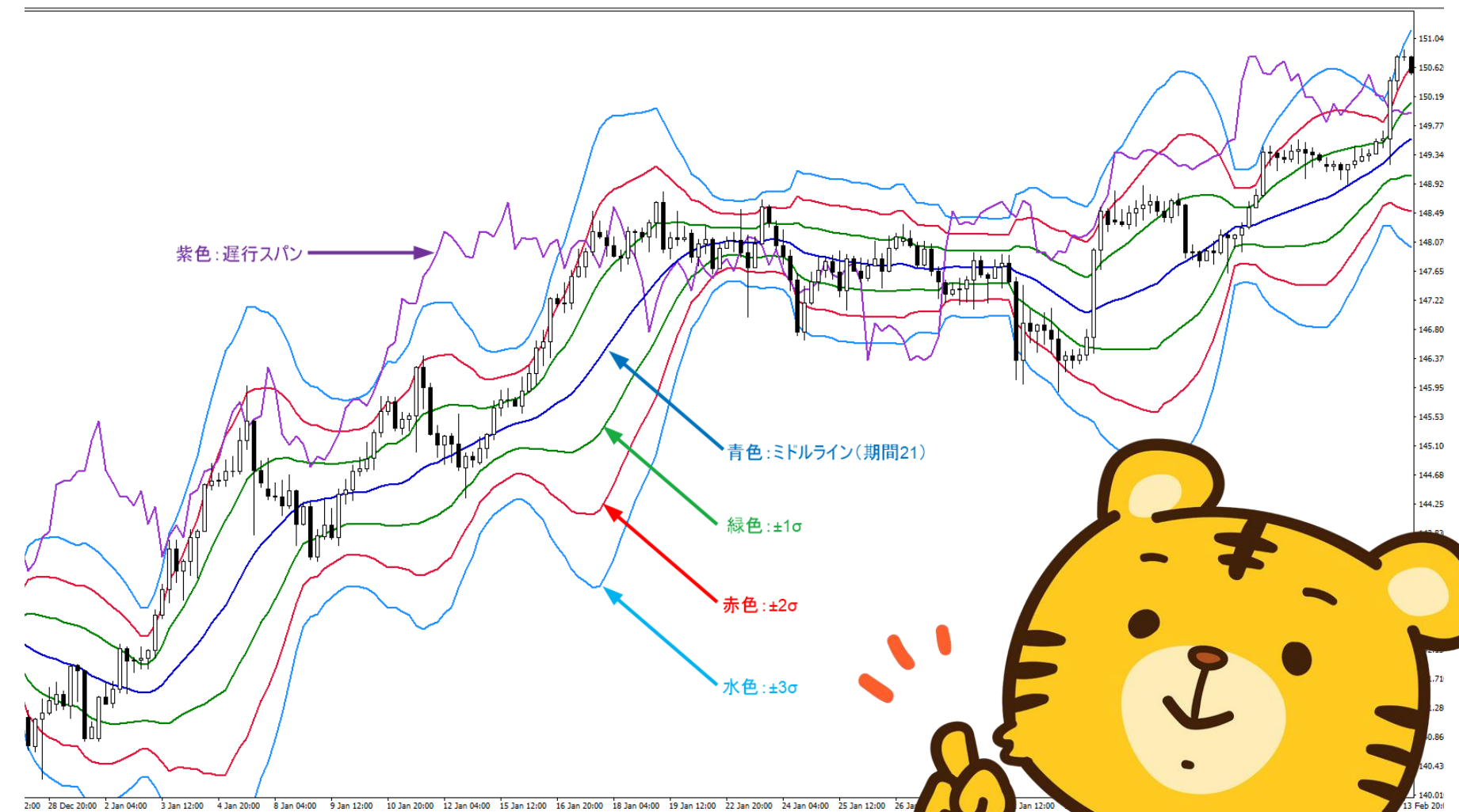
スーパーボリンジャーとは？

さらに、どのタイミングで買ったり売ったりすればいいのかがわかります。人々がたくさん買ったり売ったりしているタイミングやその勢いが強いのか弱いのが見えるので、自分のポジションの位置を客観的に判断できます。



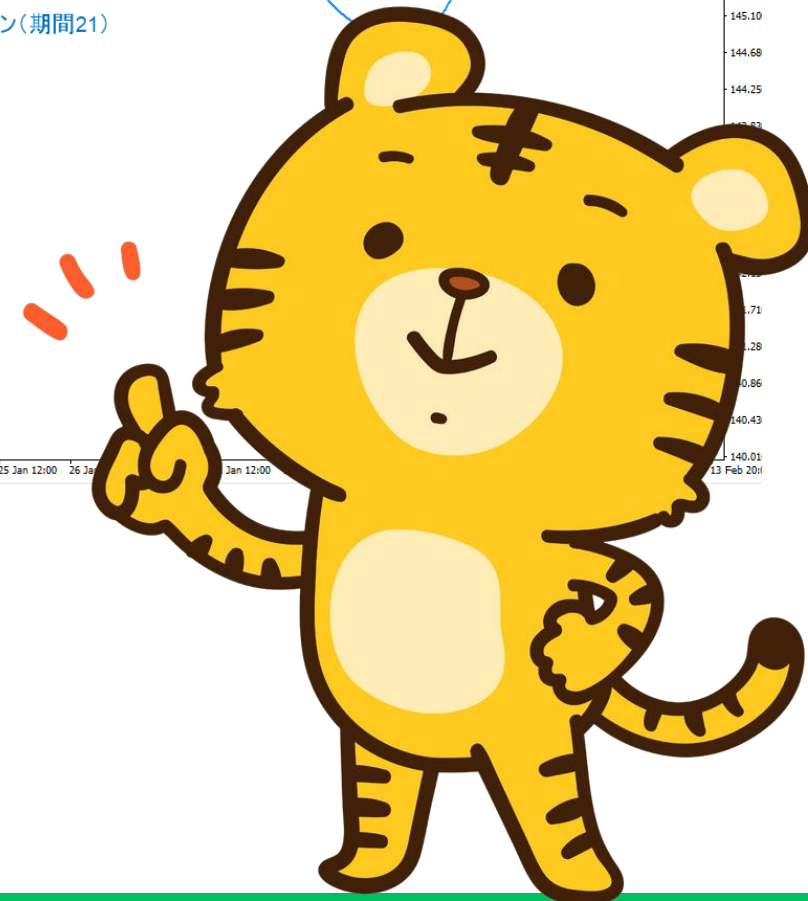
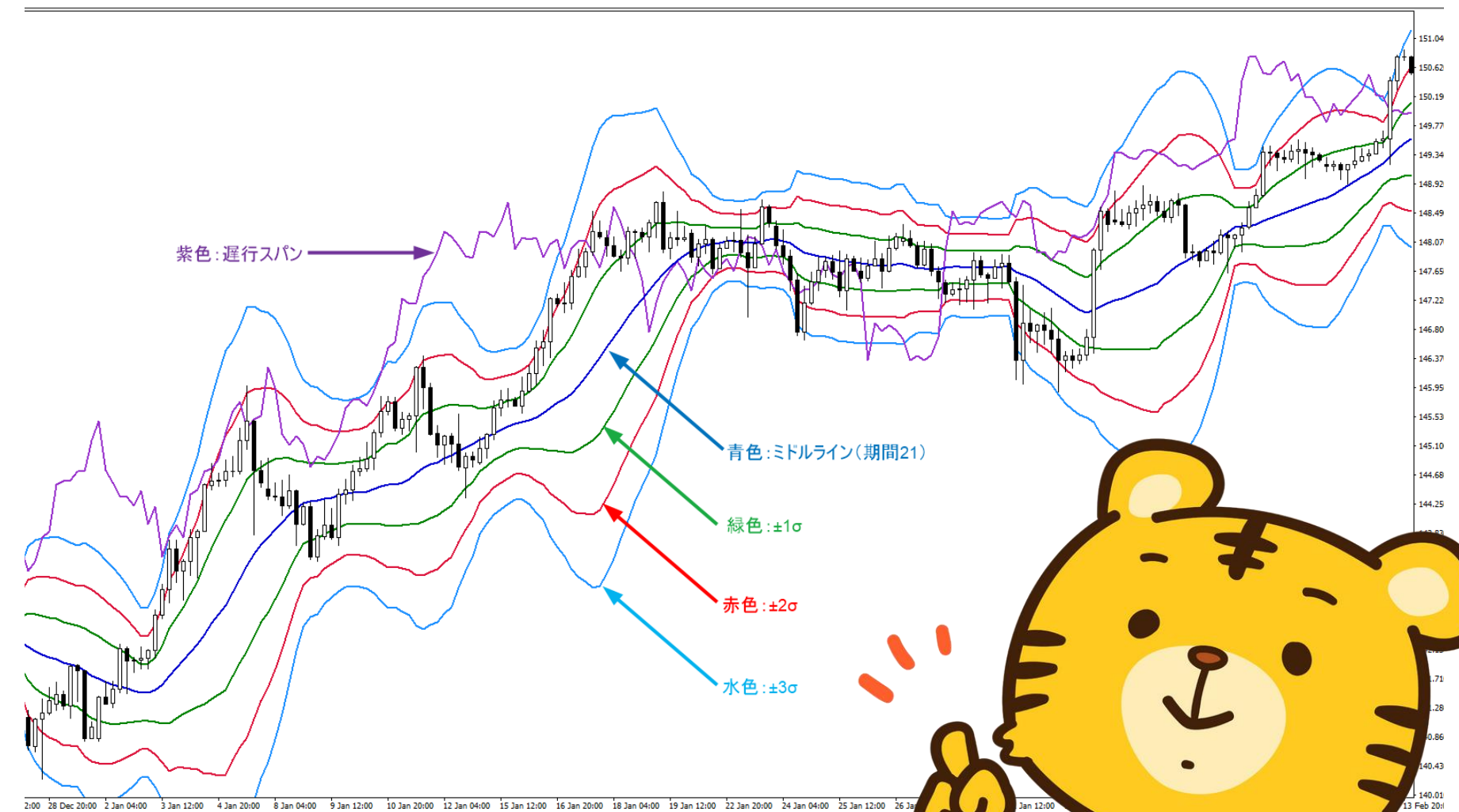
スーパーボリンジャーとは？

つまり、スーパーボリンジャーは、相場の動きがわかりやすく、今の自分のトレードがうまくいっているのか、それとももう少し待った方がいいのかを冷静に見極めることができます。



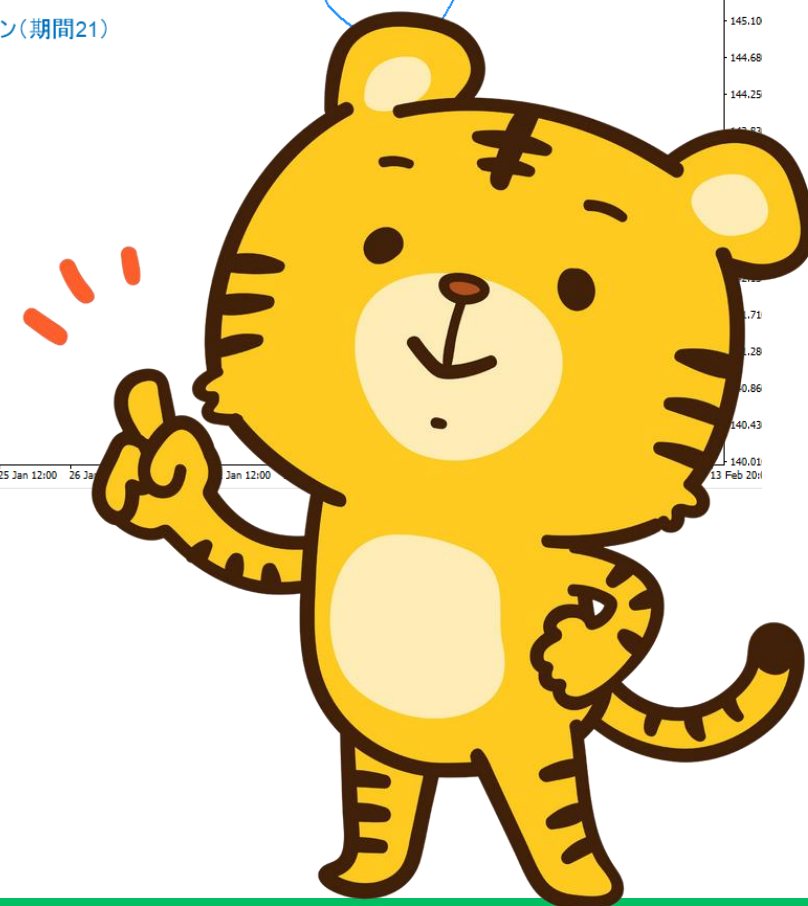
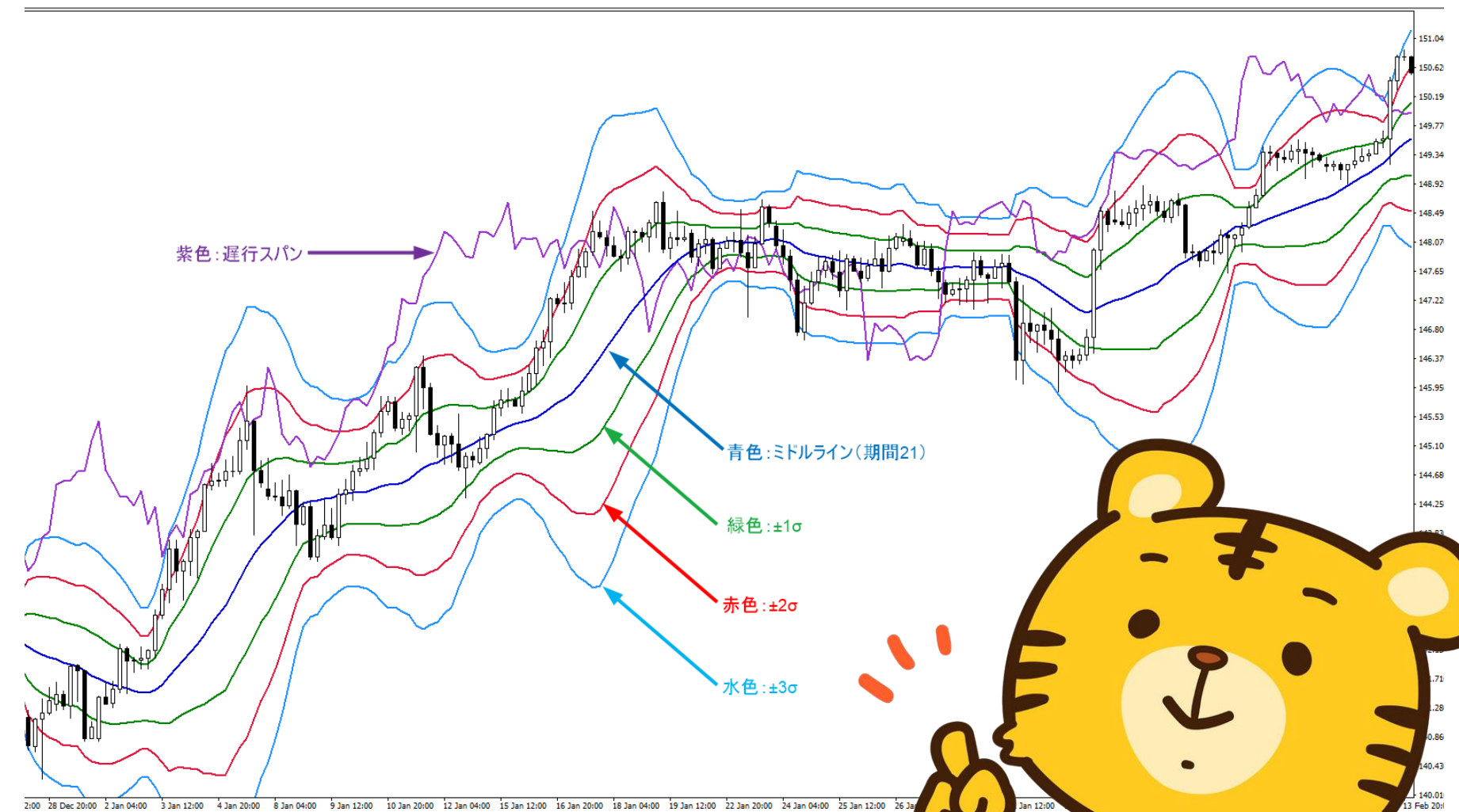
スーパーボリンジャーとは？

また、相場全体の動きを大きな視点で見るととても役立ちます。相場がどのように動いているのか、全体の流れを把握するのに効果的です。さらに、勝ち組に入るためにどう行動すればいいのかがわかります。

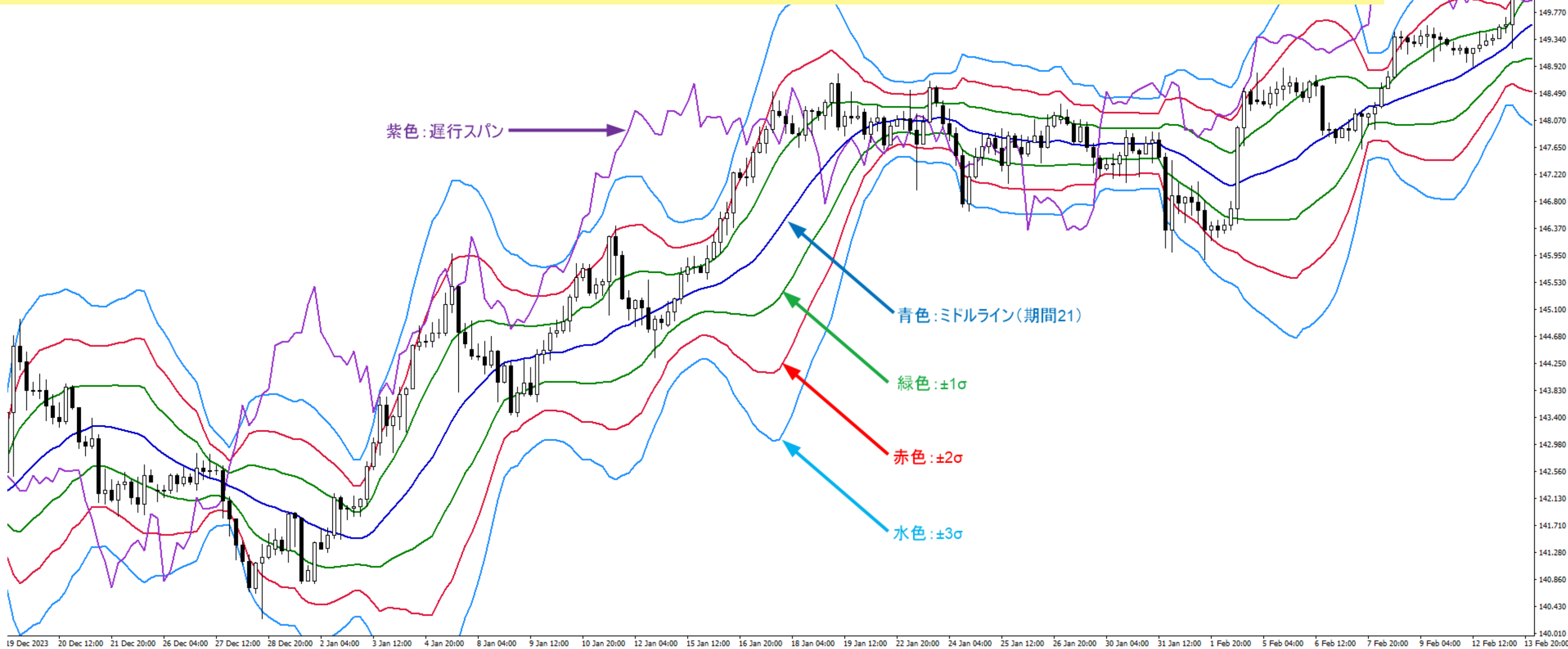


スーパーボリンジャーとは？

つまり、スーパーボリンジャーは、相場の動きがわかりやすく使いやすいチャートで、これをマスターするとトレードがもっと上手になり、成功する可能性が高くなります。



重要度の順 ➡ 遅行スパン > $\pm 1\sigma$ > $\pm 2\sigma$ > センター > $\pm 3\sigma$



遅行スパンを征する者は相場を征す



遅行スパンには絶対逆らわないこと

遅行スパンを征する者は相場を征す

マーフィさん曰く、
遅行スパンたった1本のラインとローソク足だけで相場を判断できる、これ以上シンプルな方法はありません。

もちろん、この1本のラインだけですべてが完璧にわかるわけではありませんが、相場の優位性のある方向（買いが強いのか、売りが強いのか）をつかんだり、押し目買いや戻り売りのタイミングを見つけることができます。この方法を使えば、成功するトレードの数を大きく増やせるでしょう。

そして、マーフィーさんは
遅行スパンは、自分の影のようなものと考えます。

ローソク足を自分の足跡とみ
なし、直近のローソク足が今
の自分を表しているとして
します。このとき、遅行ス
パンは、過去21本前か26
本前の自分の影にあた
ります。



[bid] 137.854
[spread] 0.00800



買い優
勢

売り優
勢



遅行スパンとローソク足（自分の足跡）の位置関係をチェックすることで、相場 directional がわかります。これにより、今の相場が買いか売りかなどが判断できるのです。

2020/3/3 23:00 (JST)
Tuesday
Winter time H4

1 Feb 2020 12 Feb 04:00 12 Feb 20:00 13 Feb 12:00 14 Feb 04:00 14 Feb 20:00 17 Feb 12:00 18 Feb 04:00 18 Feb 20:00 19 Feb 12:00 20 Feb 04:00 20 Feb 20:00 21 Feb 12:00 24 Feb 04:00 24 Feb 20:00 25 Feb 12:00 26 Feb 04:00 26 Feb 20:00 27 Feb 12:00 28 Feb 04:00 28 Feb 20:00 2 Mar 12:00 3 Mar 04:00

遅行スパンの効果的活用方法

- ◆基調トレンド方向（買い優勢、売り優勢、レンジ）がわかる
- ◆押し目買い、戻り売りの急所がわかる
- ◆特に大相場への変化のタイミングがわかる
- ◆時間のリズムがわかる

遅行スパンの上げ下げのリズムとローソク足の上げ下げのリズムが一致することが多い（遅行スパンの「同期生」）

遅行スパンがローソク足の高値や安値を通過するタイミングは、相場が高値や安値をつけやすいタイミング。

遅行スパンの効果的活用方法

◆基調トレンド方向（買い優勢、売り優勢、レンジ）がわかる

陽転・陰転・絡みの3種類

陽転⇒遅行スパンがローソク足の上 ⇒買い優勢

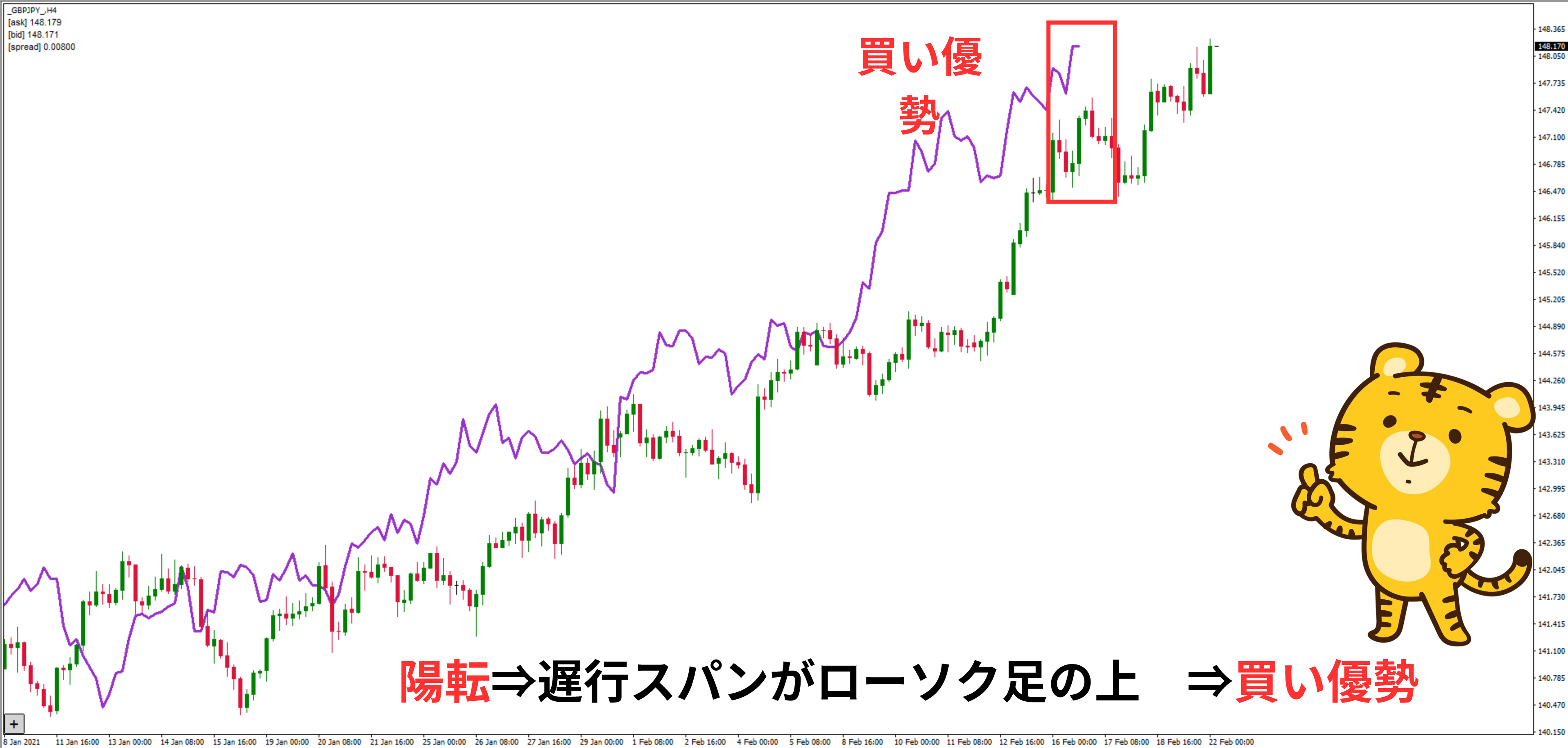
陰転⇒遅行スパンがローソク足の下 ⇒売り優勢

絡み⇒遅行スパンがローソク足に絡む⇒レンジ相場

転換⇒陽転状態から陰転する（陰転状態から陽転する）

ただし、終値確定時に最終判断することがコツ

_GBPJPY_H4
[ask] 148.179
[bid] 148.171
[spread] 0.00800

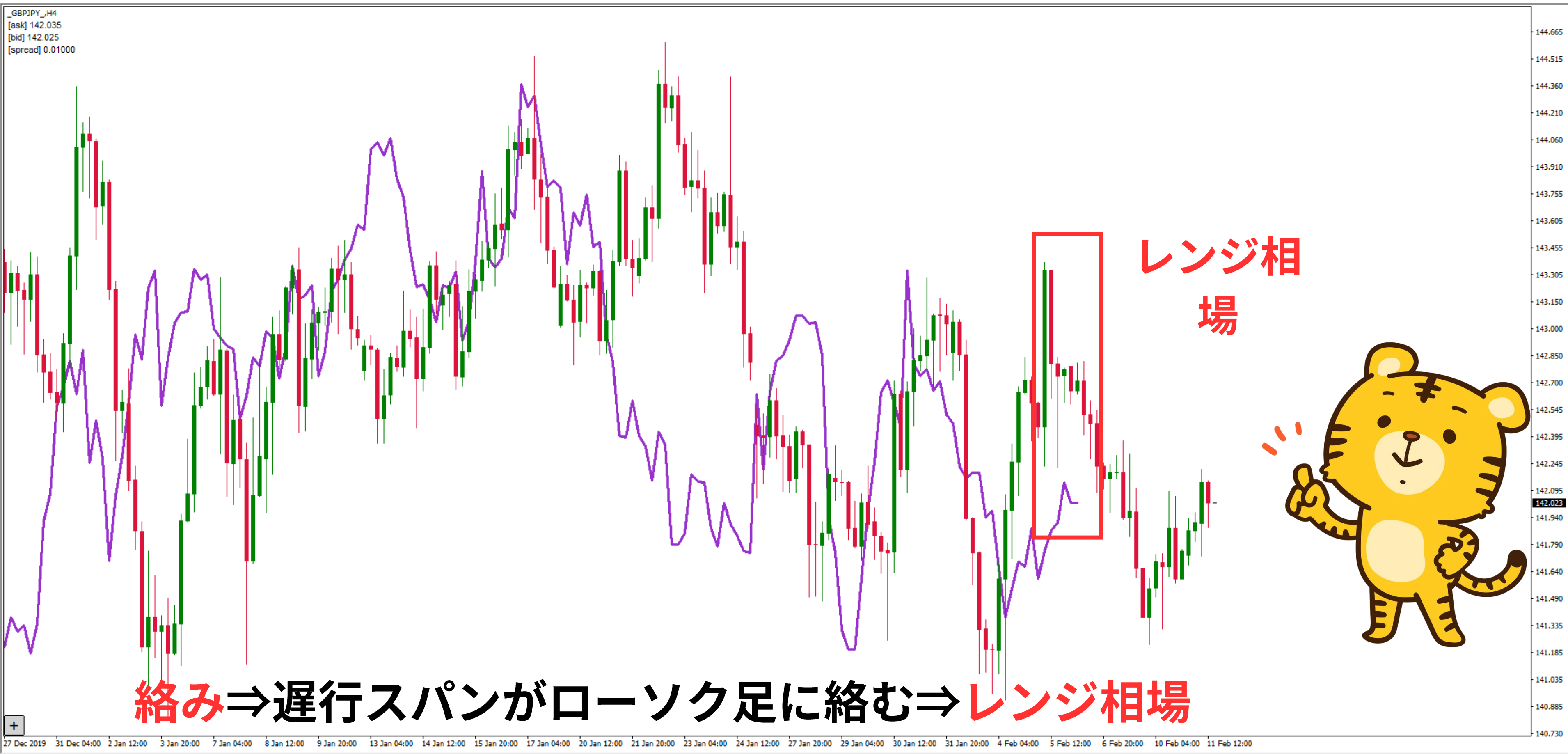


買い優
勢

陽転⇒遅行スパンがローソク足の上 ⇒買い優勢





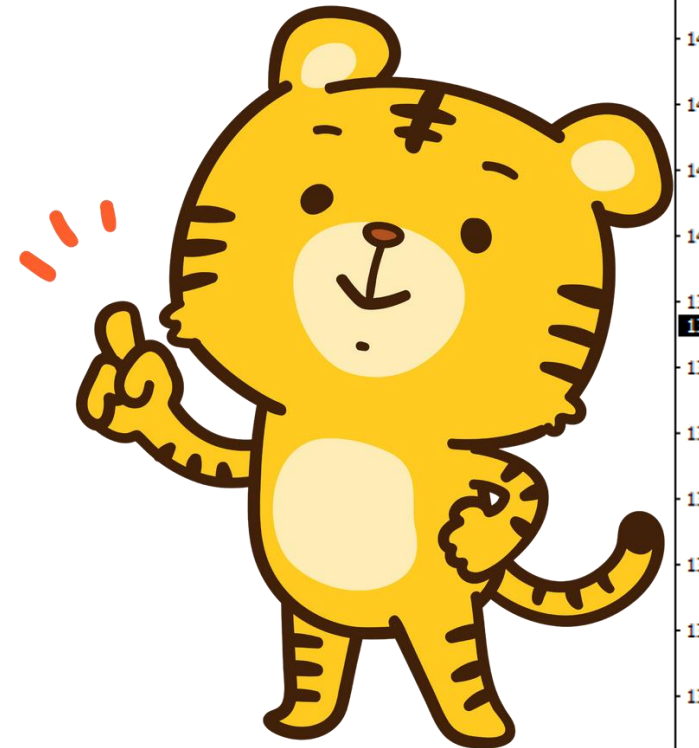


_GBPJPY_H4
[ask] 139.964
[bid] 139.847
[spread] 0.11700

転換タイミング⇒陽転状態から陰転する（陰転状態から陽転する）

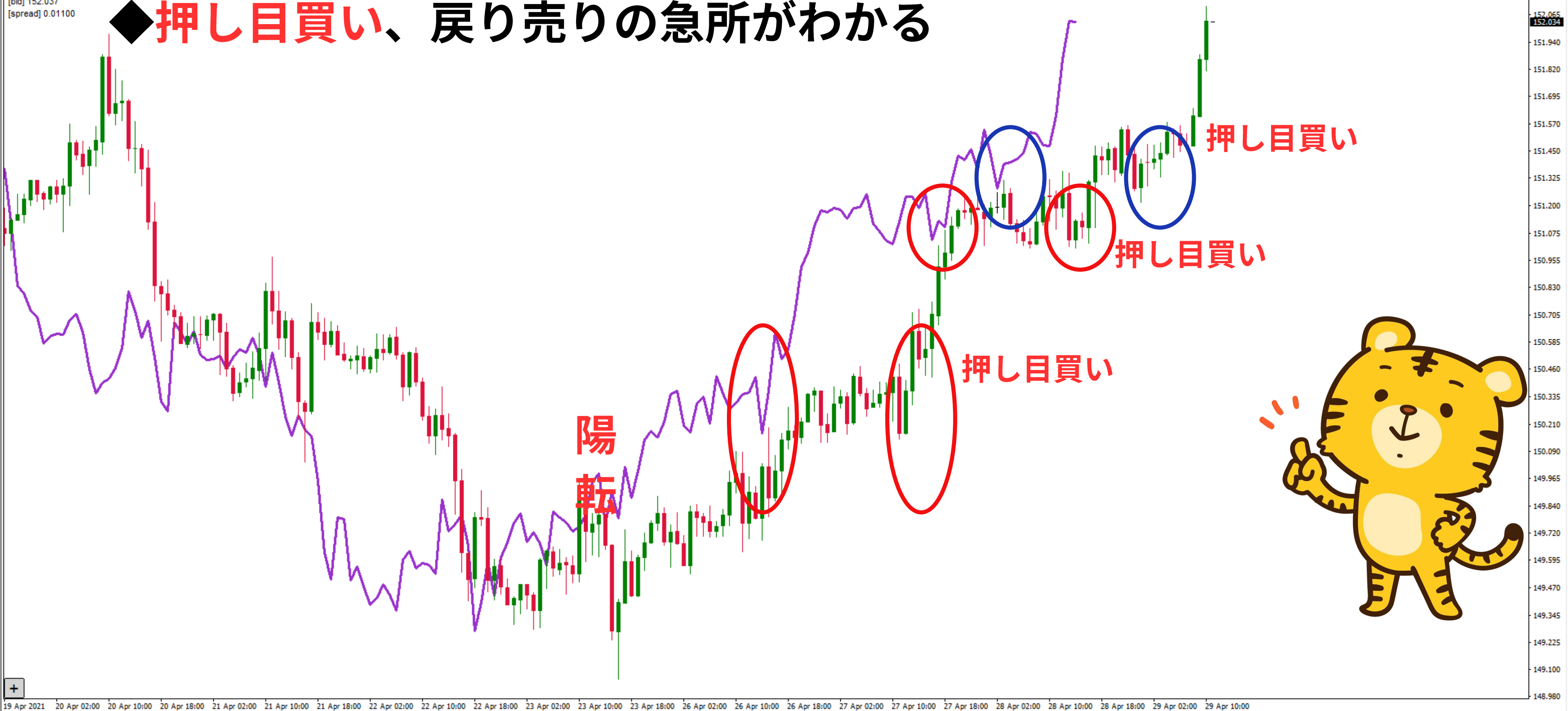
陽転

陰転



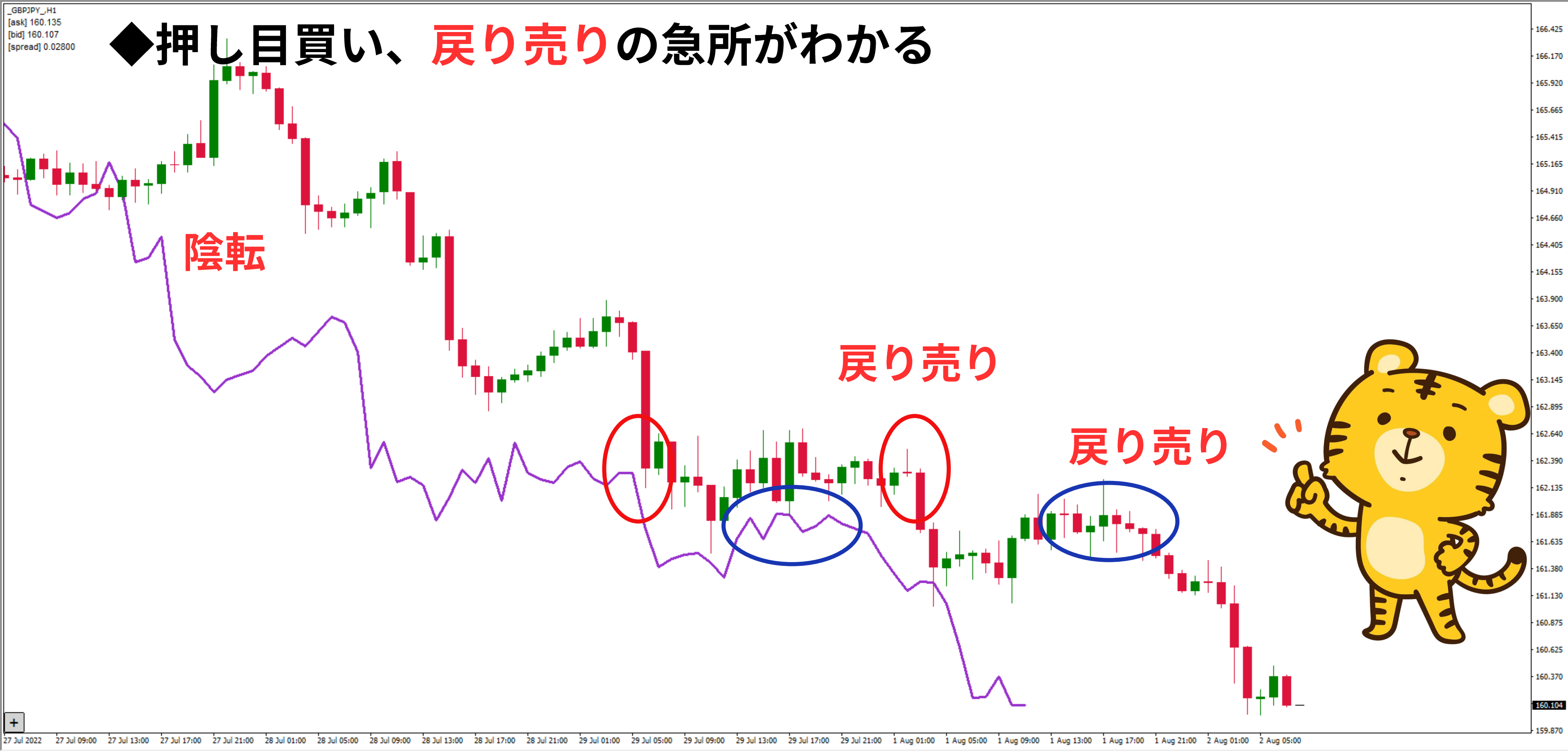
_GBPJPY_H1
[ask] 152.048
[bid] 152.037
[spread] 0.01100

◆押し目買い、戻り売りの急所がわかる

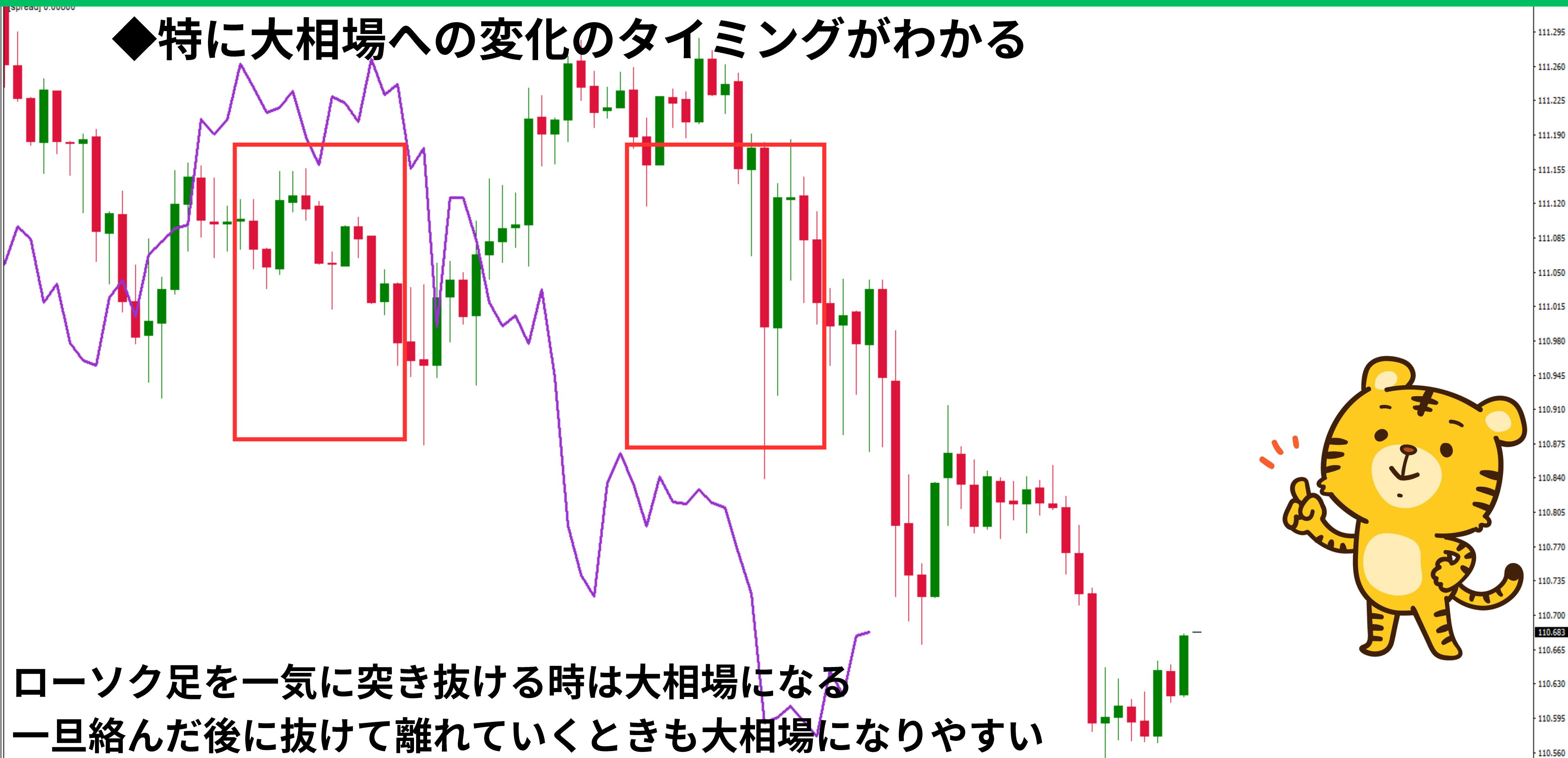


_GBPJPY_H1
[ask] 160.135
[bid] 160.107
[spread] 0.02800

◆押し目買い、戻り売りの急所がわかる



◆特に大相場への変化のタイミングがわかる

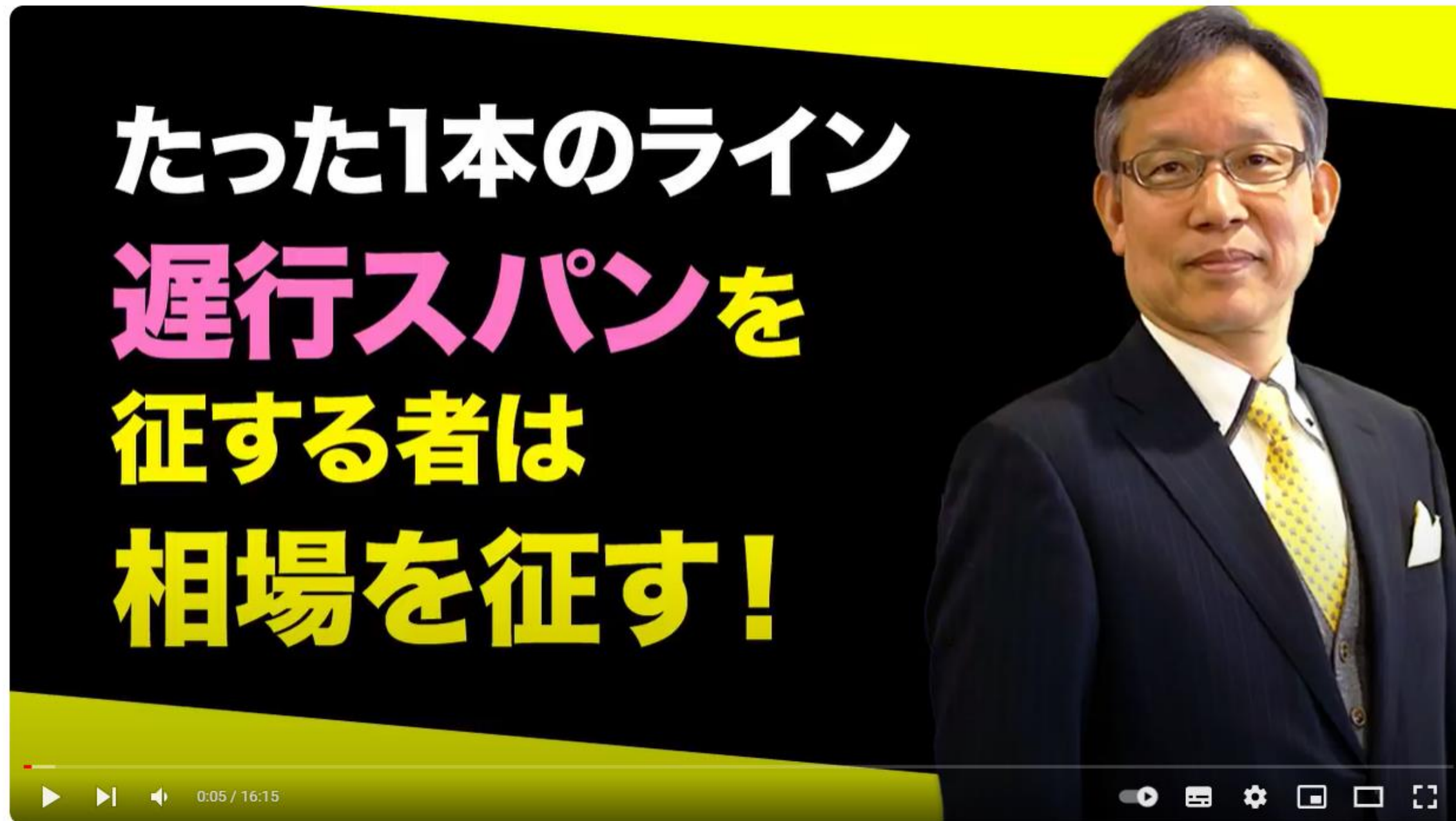


[ask] 110.687
[bid] 110.679
[spread] 0.00800



111.715
111.665
111.615
111.565
111.515
111.465
111.415
111.365
111.315
111.265
111.215
111.165
111.115
111.065
111.015
110.965
110.915
110.865
110.815
110.765
110.715
110.679
110.665
110.615
110.565
110.515

遅行スパンを征する者は相場を征す



±1σラインの意味

◆プラス1σラインを上回っている

過去21日間に買いから入った市場参加者の約84%が儲かり、逆に、売りから入った市場参加者の約84%が損をしている。

◆マイナス1σラインを下回っている

過去21日間に売りから入った市場参加者の約84%が儲かり、逆に、買いから入った市場参加者の約84%が損をしている。



±1σラインの意味

相場の世界は「**2割8割の法則（パレードの法則）**」に支配される。

そして相場は、この**相場力学**が要因となって、
終値がプラス1σラインを上回ると上昇加速する。
終値がマイナス1σラインを下回ると下降加速する。

＊一旦動き出すと、さらに動きやすくなるという相場の習性（**加速度**）であり、相場力学の1つである**慣性の法則（ニュートンの運動の第1法則）**も加わり、相場が展開していくと言っています。



相場の12の局面

相場は**上昇**、**下降**、**レンジ**の3局面からなる
トレンド、**調整**を含めると、5つの局面に分類される

1. 本格上昇トレンド局面（買い優位）
2. 本格下降トレンド局面（売り優位）
3. 調整の反落局面（下降バイアス、売り優位）
4. 調整の反騰局面（上昇バイアス、買い優位）
5. レンジ局面（高値圏で売り優位、安値圏で買い優位）



さらに詳細に分けることができる

スーパーボリンジャーでわかる、相場の12の局面

- | | |
|------------------------|---------|
| 1 走る本格上昇トレンド局面 | 買い優位 |
| 2 巡航速度の本格上昇トレンド局面 | 買い優位 |
| 3 緩やかな上昇トレンド局面 | 買い優位 |
| 4 調整の反落局面 | 短期で売り優位 |
| 5 基調としての上昇トレンド局面 | 長期で買い優位 |
| 6 レンジ局面（次なるステージへの準備局面） | 中立 |



相場の12の局面：1走る本格上昇トレンド局面

特徴：

終値が+2σラインを上回り続ける局面
非常に強い上昇トレンド局面。買い優位

トレード戦略：

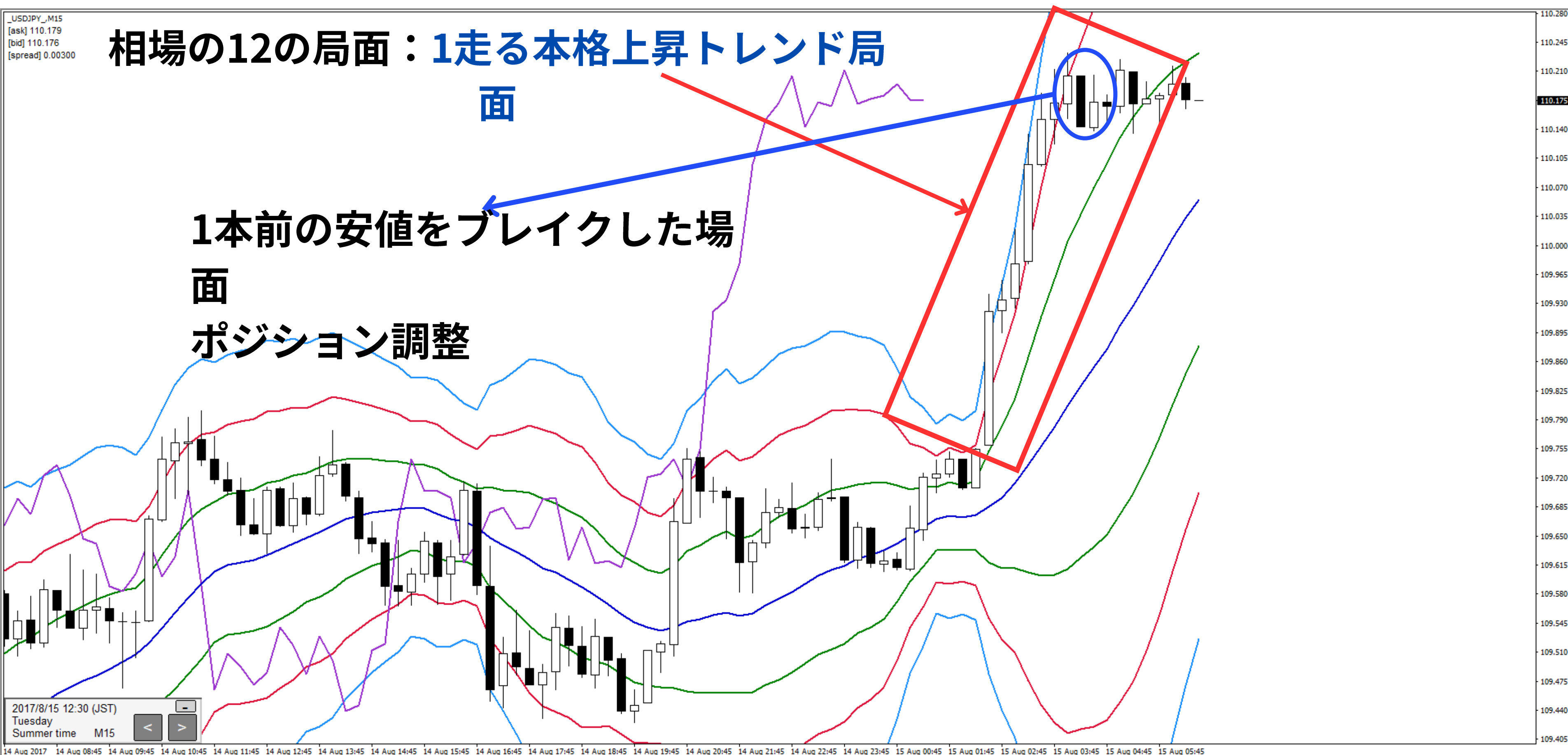
終値が+2σラインを上回り続けるかぎり、買い
終値が+2σラインを下回るか、1本前の安値を
ザラ場でブレイクすればポジション調整
終値が+1σラインをキープするかぎりは、基本は
買い目線継続



_USDJPY_M15
[ask] 110.179
[bid] 110.176
[spread] 0.00300

相場の12の局面：1走る本格上昇トレンド局面

1本前の安値をブレイクした場面
ポジション調整



相場の12の局面：2巡航速度の本格上昇トレンド局面

特徴：

終値が+1σラインを上回り続ける局面
強い上昇トレンド局面。買い優位

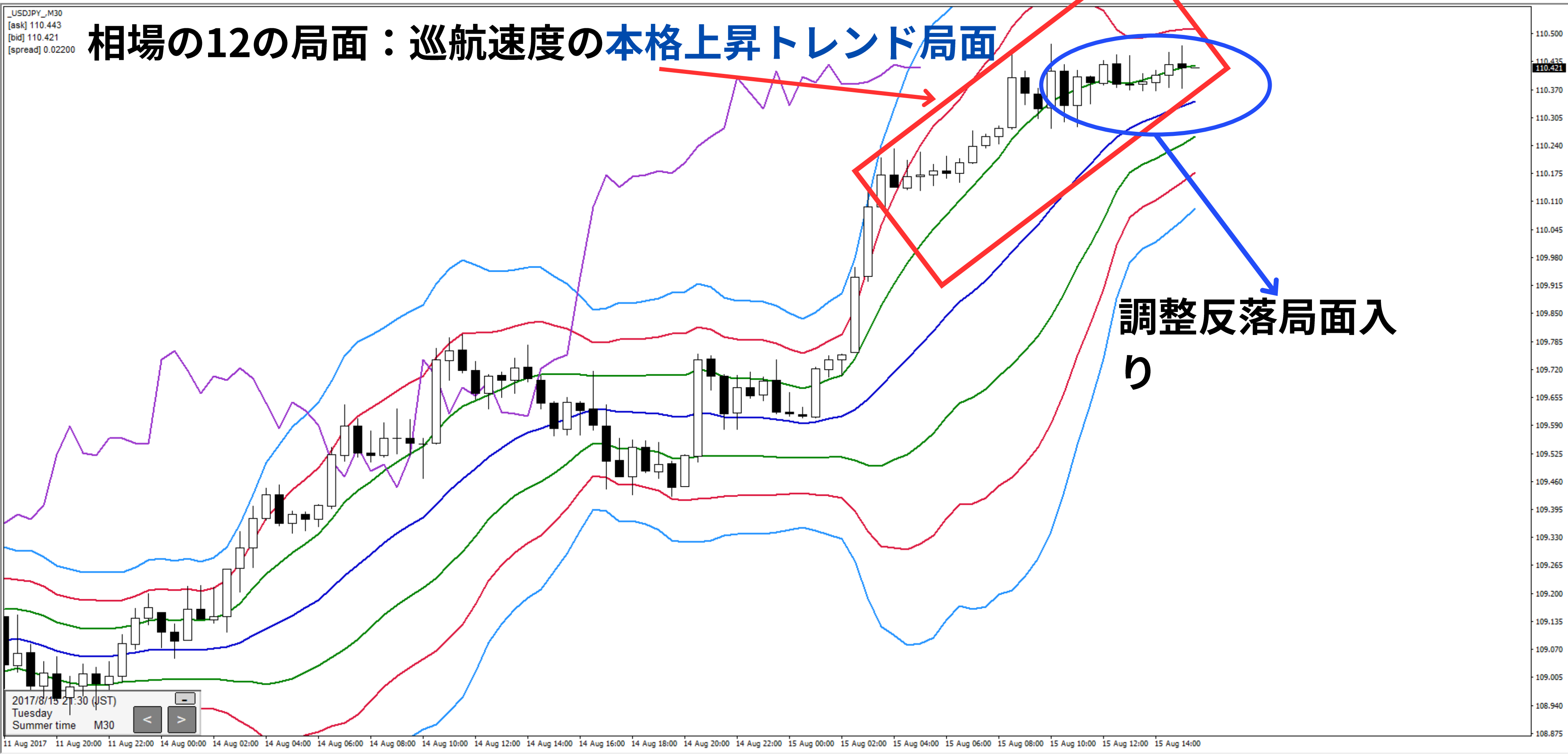
トレード戦略：

終値が+1σラインを上回り続けるかぎり、買い
終値が+1σラインを下回れば、ポジション調整
終値が+1σラインを下回れば、調整反落局面入り
と判断されるため、一旦は売り目線に変更



_USDJPY_M30
[ask] 110.443
[bid] 110.421
[spread] 0.02200

相場の12の局面：巡航速度の本格上昇トレンド局面



調整反落局面入り

2017/8/15 21:30 (JST)
Tuesday
Summer time M30

相場の12の局面：3緩やかな上昇トレンド局面

特徴：

終値がセンターラインを上回り続ける局面

緩やかな上昇トレンド局面。買い優位

+2σラインとセンターラインの間を行き来しながら、

ゆっくりと上昇していく相場

トレード戦略：

終値がセンターラインを上回り続けるかぎり、買い

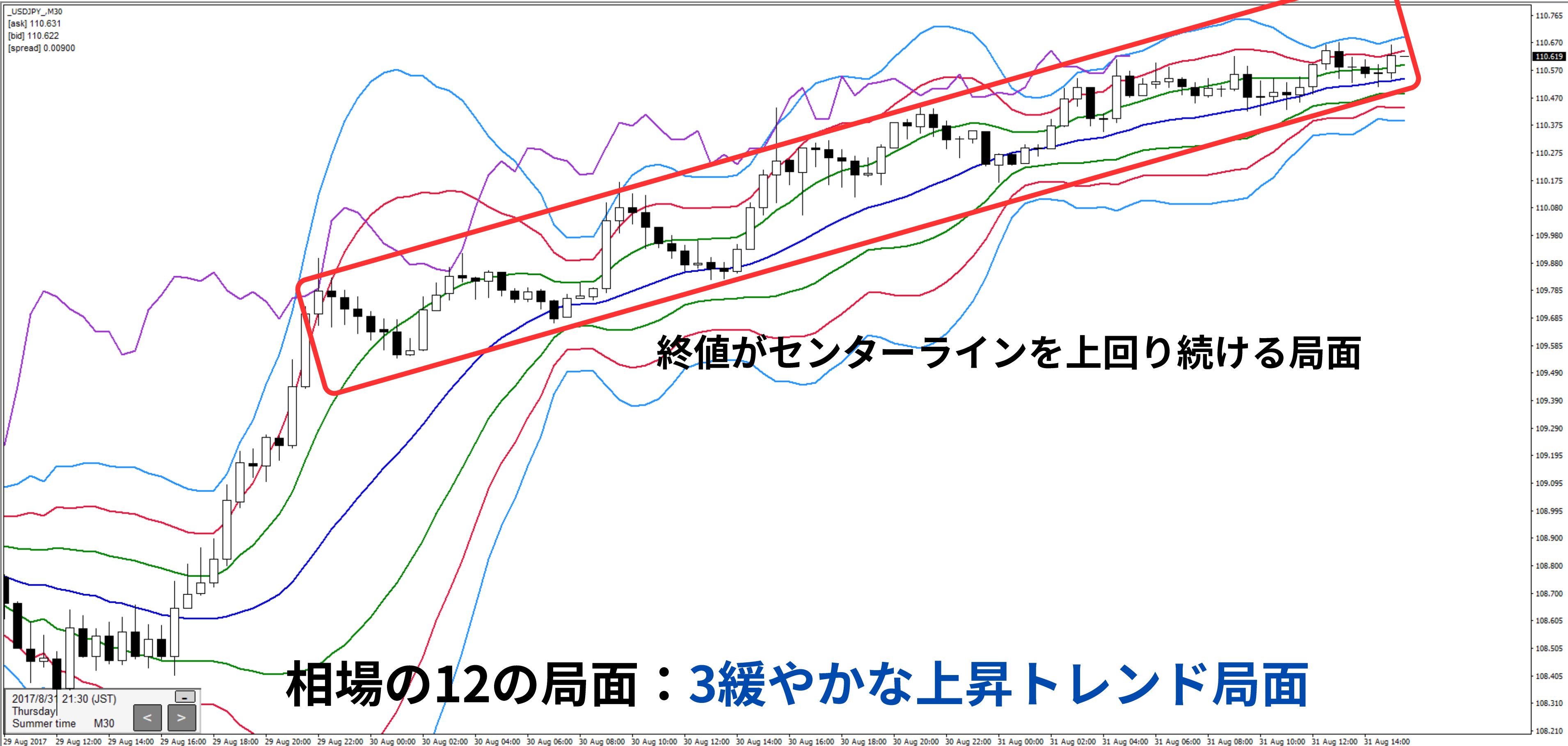
終値がセンターラインを下回れば、ポジション調整

終値がセンターラインを下回れば、本格調整反落局面

入りと判断されるため、売り目線に変更。



_USDJPY_M30
[ask] 110.631
[bid] 110.622
[spread] 0.00900



終値がセンターラインを上回り続ける局面

相場の12の局面：3緩やかな上昇トレンド局面

相場の12の局面：4調整の反落局面

特徴：

終値が+1σラインを下回って以降、反落の流れ
短期で売り優位

トレード戦略：

終値が+1σラインを下回って以降は、売り目線
最終ターゲットは-2σライン

終値が+2σラインを上回らないかぎり、戻り売り
反落途上のセンターラインは一旦ポジション調整
陽転中の遅行スパンがローソク足接近で買い戻し





相場の12の局面：5基調としての上昇トレンド局面

特徴：

遅行スパンが陽転し続ける局面

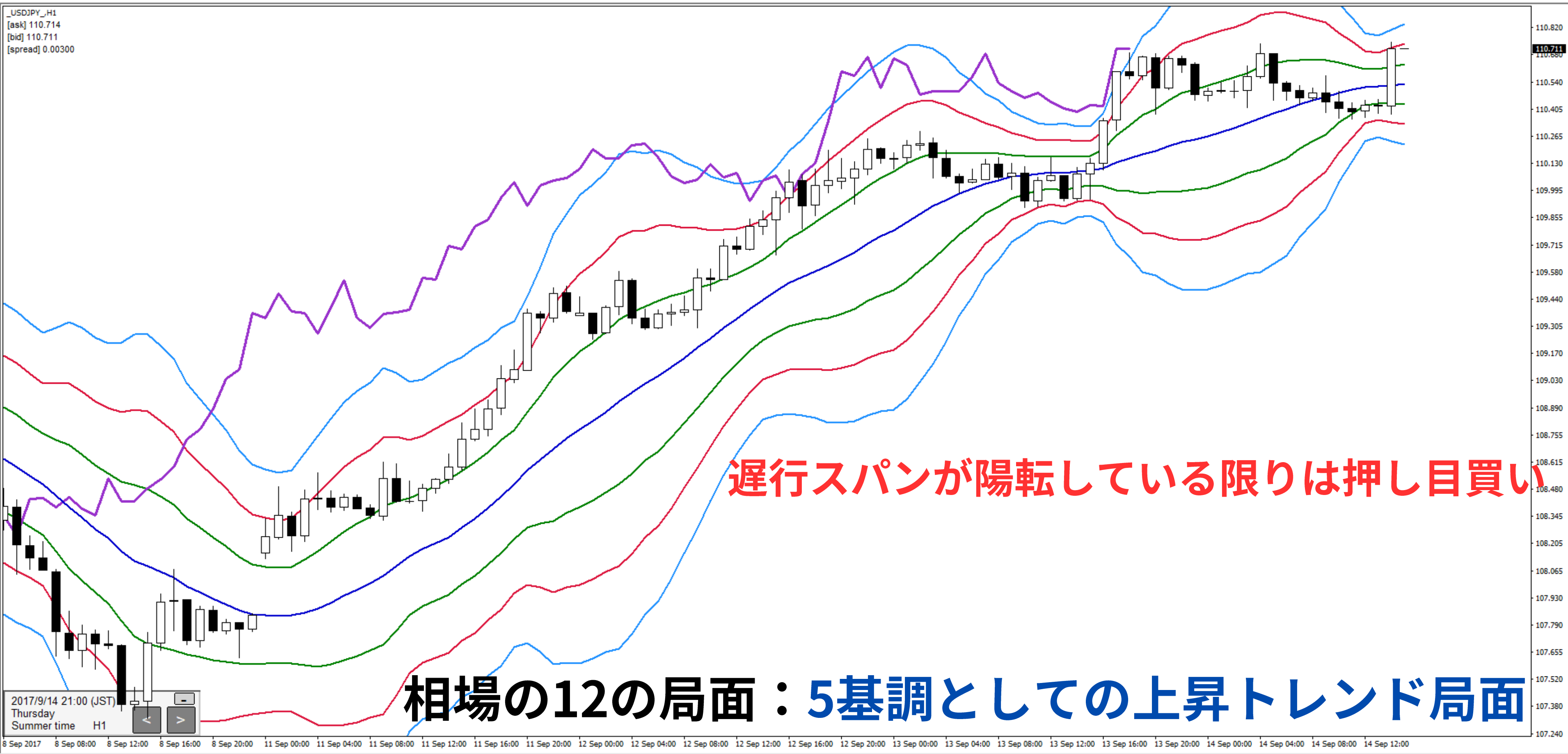
押しの値幅が大きく、行ったり来たりしながら上昇
長期で買い優位

トレード戦略：

遅行スパンが陽転するかぎり、買い目線

遅行スパンがローソク足に接近、接触する
タイミングにて押し目買い





相場の12の局面：6レンジ局面（次なるステージへの準備局面）

特徴：

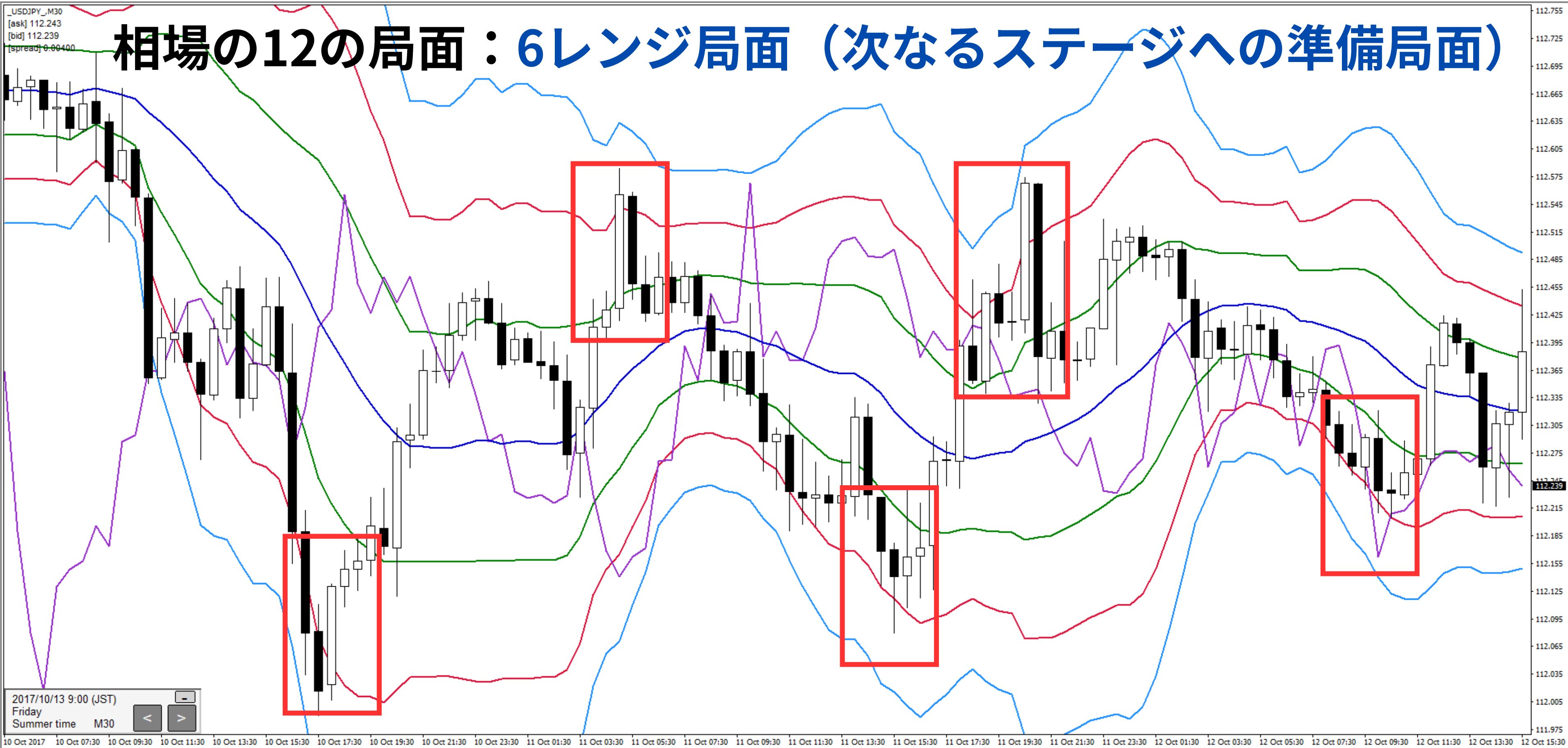
遅行スパンがローソク足に絡んで推移。バンド幅収束
+2 σ ラインと-2 σ ラインの間を往来する。中立。

トレード戦略：

相場が上昇、もしくは下方方向に放れ、
トレンド局面に入るまでは、+2 σ ラインにかけて
戻り売り、-2 σ ラインにかけて押し目買い
（カウンタートレード）



相場の12の局面：6レンジ局面（次なるステージへの準備局面）



スーパーボリンジャーでわかる、相場の12の局面

- | | |
|-------------------------|---------|
| 7 走る本格下降トレンド局面 | 売り優位 |
| 8 巡航速度の本格下降トレンド局面 | 売り優位 |
| 9 緩やかな下降トレンド局面 | 売り優位 |
| 10 調整の反騰局面 | 短期で買い優位 |
| 11 基調としての下降トレンド局面 | 長期で売り優位 |
| 12 レンジ局面（次なるステージへの準備局面） | 中立 |



相場の12の局面：7走る本格下降トレンド局面

特徴：

終値が-2σラインを下回り続ける局面
非常に強い下降トレンド局面。売り優位

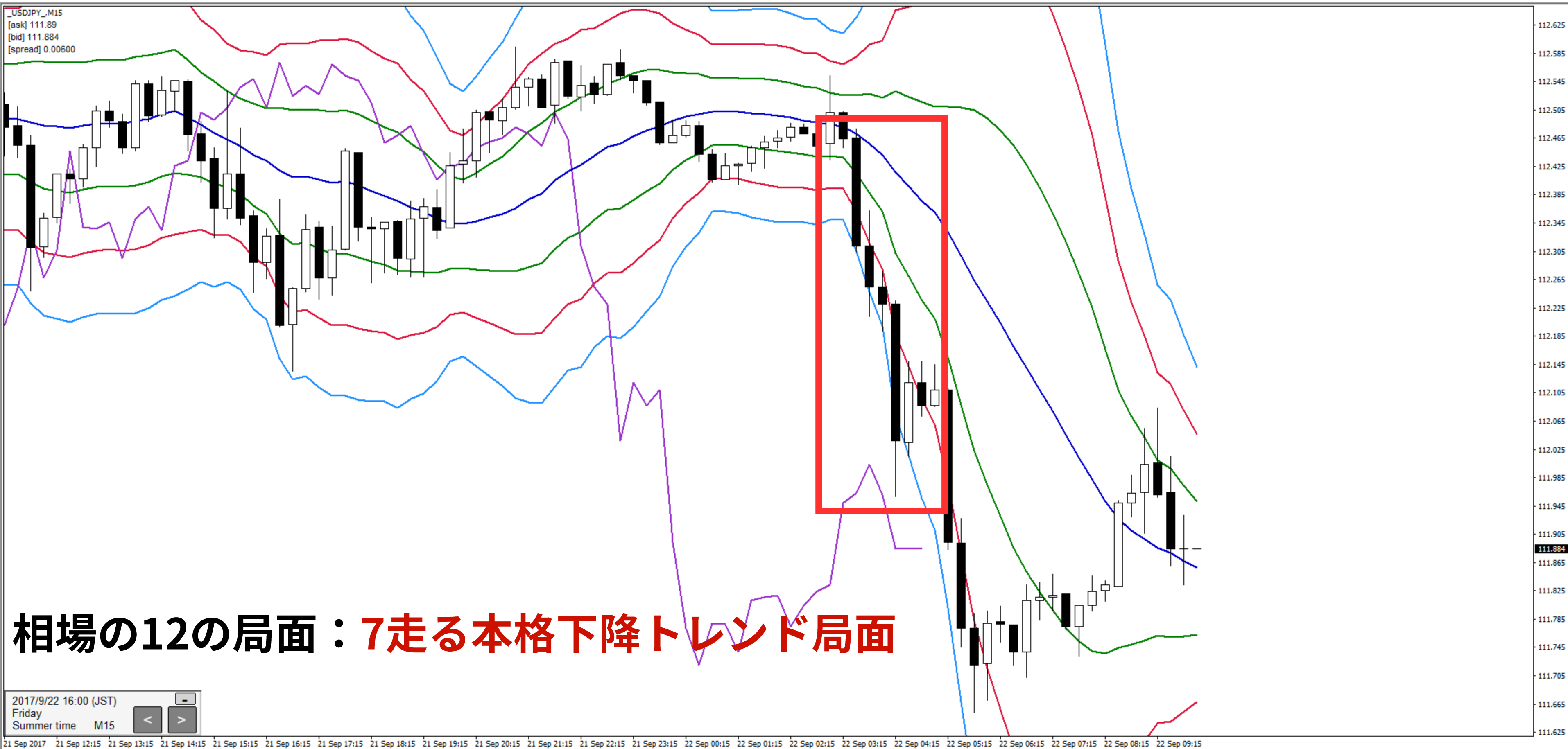
トレード戦略：

終値が-2σラインを下回り続けるかぎり、売り。

終値が-2σラインを上回るか、1本前の高値を
ザラ場でブレイクすればポジション調整

終値が-1σラインをキープするかぎりは、基本は
売り目線継続





相場の12の局面：8巡航速度の本格下降トレンド局面

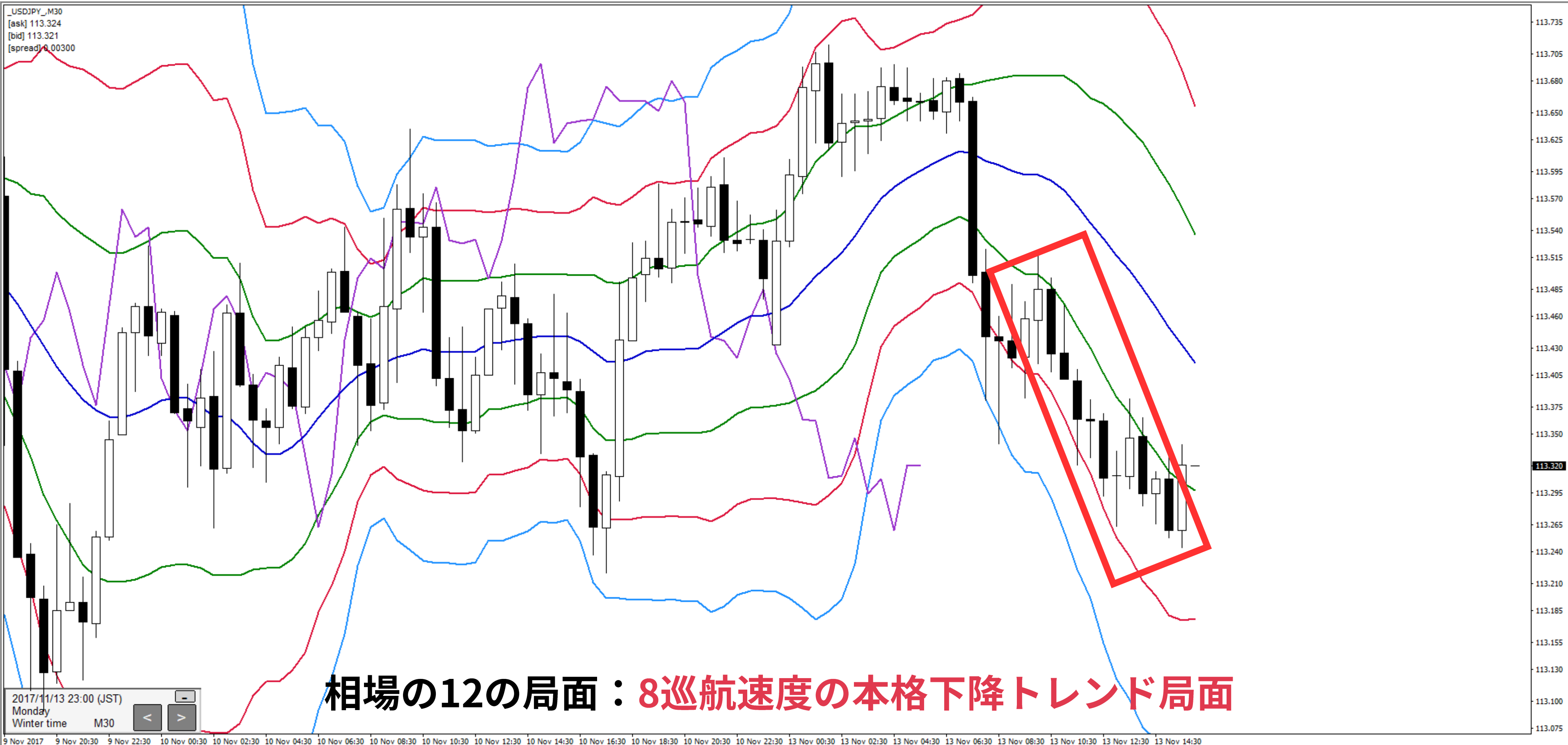
特徴：

終値が-1σラインを下回り続ける局面
強い下降トレンド局面。売り優位

トレード戦略：

終値が-1σラインを下回り続けるかぎり、売り。
終値が-1σラインを上回れば、ポジション調整
終値が-1σラインを上回れば、調整反騰局面入り
と判断されるため、一旦は買い目線に変更





相場の12の局面：9緩やかな下降トレンド局面

特徴：

終値がセンターラインを下回り続ける局面

緩やかな下降トレンド局面。売り優位

-2 σ ラインとセンターラインの間を行き来しながら、
ゆっくりと下降していく相場

トレード戦略：

終値がセンターラインを下回り続けるかぎり、売り

終値がセンターラインを上回れば、ポジション調整

終値がセンターラインを上回れば、本格調整反騰局面
入りと判断されるため、買い目線に変更。



_USDJPY_M30
[ask] 112.603
[bid] 112.6
[spread] 0.00300

相場の12の局面：9緩やかな下降トレンド局面



相場の12の局面：10 調整の反騰局面

特徴：

終値が-1σラインを上回って以降、反騰の流れ
短期で買い優位

トレード戦略：

終値が-1σラインを上回って以降は、買い目線
最終ターゲットは+2σライン

終値が-2σラインを下回らないかぎり、押し目買い
反騰途上のセンターラインは一旦ポジション調整
陰転中の遅行スパンがローソク足接近で売り戻し



相場の12の局面：10 調整の反騰局面



相場の12の局面：11 基調としての下降トレンド局面

特徴：

遅行スパンが陰転し続ける局面

戻しの値幅が大きく、行ったり来たりしながら下降
長期で売り優位

トレード戦略：

遅行スパンが陰転するかぎり、売り目線

遅行スパンがローソク足に接近、接触する
タイミングにて戻り売り



相場の12の局面：11 基調としての下降トレンド局面

遅行スパンが陰転している限りは戻り売り



相場の12の局：12レンジ局面（次なるステージへの準備局面）

特徴：

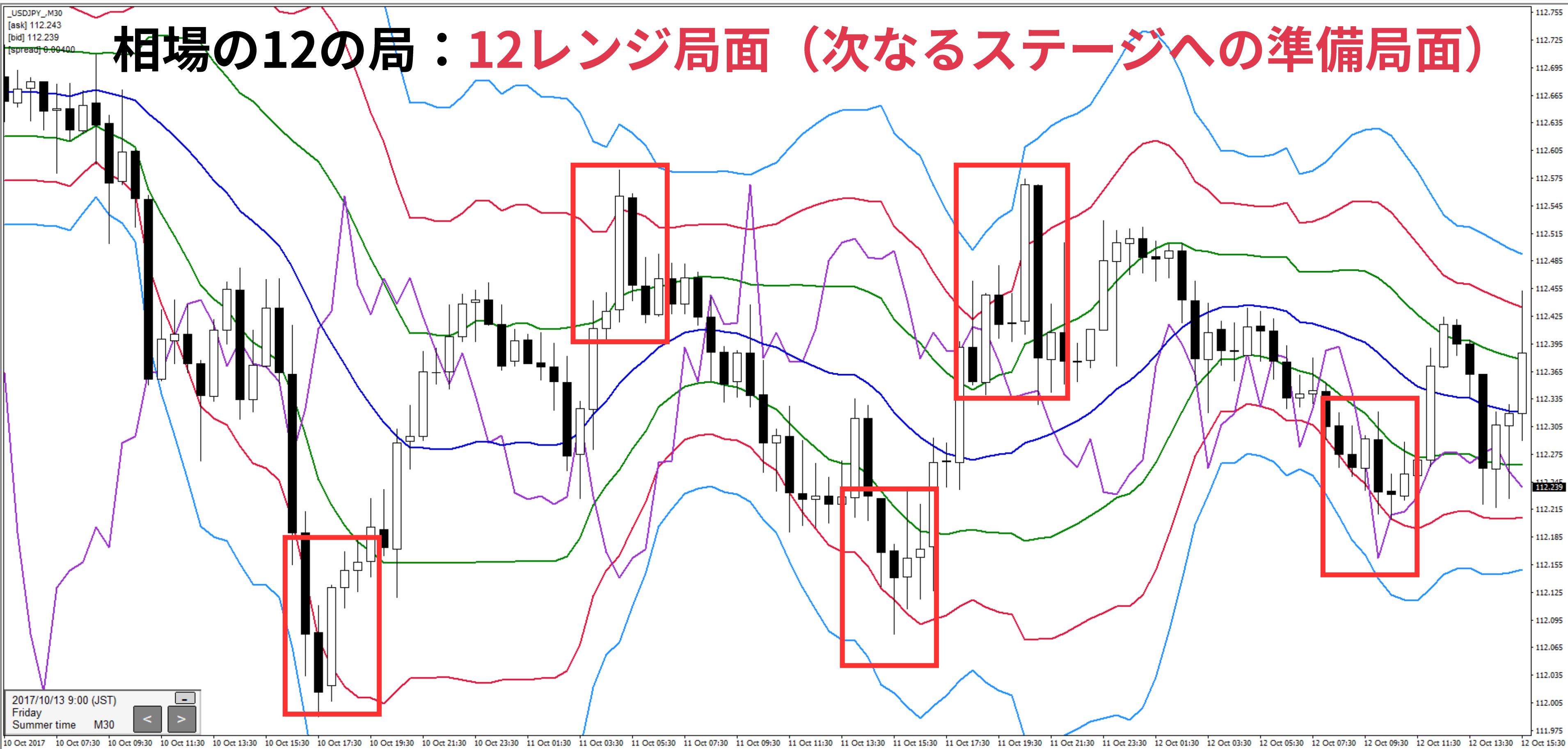
遅行スパンがローソク足に絡んで推移。バンド幅収束
-2 σ ラインと+2 σ ラインの間を往来する。中立。

トレード戦略：

相場が下降、もしくは上方向に放れ、トレンド局面に入るまでは、-2 σ ラインにかけて押し目買い、+2 σ ラインにかけて戻り売り（カウンタートレード）



相場の12の局：12レンジ局面（次なるステージへの準備局面）



まとめ

スーパーボリンジャーは、トレードを簡単にしてくれるとても便利なツールです。
たとえば、相場が上昇しているのか下降しているのか、その勢いが強いのか弱いのかが一目
でわかるようになります。
これにより、どのタイミングで買ったり売ったりすればいいかが簡単に判断できます。



まとめ

遅行スパンもとても重要な役割があり、相場の流れ（買いが強いのか、売りが強いのか）をすぐに見つけられます。

また、押し目買いや戻り売りのチャンスを見つけやすく、大きな相場の変化を見逃さないようにするのに役立ちます。



まとめ

スーパーボリンジャーを使えば、これらのポイントを簡単に活かして、よりうまくトレードができるようになります。

特に初心者やうまくいかない人にとって、分かりやすくて効果的な手法です。

スーパーボリンジャーを本格的に学びたい方は、マーフィーさんの動画やメルマガでしっかり学んで、基本を押さえた上で実践してみましょ

